

評価対象年度	平成 15 年度	<b>事務事業評価表</b>		作成日 平成16年5月27日作成 点検日 平成 年 月 日		
事務事業名	交通安全施設管理事業		事務事業コード			
担当部課係等	総務部 総務課 交通防犯防災係		<input type="checkbox"/> 総合計画実施計画対象事業			
総合計画体系						
予算科目	会計	款	項	目		
	5	2	1	8		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 58 年度 ~ )			
			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )			
事業概要			全体計画 (単位:千円)			
交通安全施設の設置及び補修を行い、交通事故防止に努める 安全施設 警戒標識 赤色回転灯 カーブミラー ロードフラッシャー 路面標示 上記施設の新設、修繕 維持管理経費 ・新設は、区長から設置要望書を提出してもらい現地状況を調査し設置する  市内施設数 カーブミラー 1,716基 ロードフラッシャー 88箇所 赤色回転灯 182灯 警戒標識1,333箇所 交差点クロスマーク2,420箇所 交差点予告標示 31箇所			投入量	事業費	国庫支出金	
				事業費	県支出金	
				事業費	地方債	
				事業費	その他	
				事業費	一般財源	
				事業費計 (A)		0
			人件費	正規職員		
			人件費	正規職員以外		
			人件費計 (B)		0	
			トータルコスト(A)+(B)		0	

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果

① 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)

15年度実績  
カーブミラー設置移設工事=38ヶ所 交差点予告標示=9ヶ所  
カーブミラー修繕=25箇所 ロードフラッシャー修繕=10ヶ所  
警戒標識=3ヶ所 赤色回転灯修繕=31箇所

16年度計画

カーブミラー設置工事=40ヶ所 交差点予告標示=2ヶ所  
カーブミラー修繕=25ヶ所 ロードフラッシャー修繕=5ヶ所  
警戒標識修繕=10ヶ所 赤色回転灯修繕=40ヶ所

② 対象(誰、何を対象にしているのか)\*人や自然資源等

道路を通行する住民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

住民が標識等により注意を払うことで、交通事故の発生が少なくなる。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

交通事故がなく、安全で安心して生活できる街ができる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

整備された安全施設の数

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

道路を通行する住民の数

⑦ 成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない

交通事故の発生数

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

交通事故がなく、安全で安心して生活できると感じる住民の数

(2) 総事業費・指標等の推移

(単位:千円)

		12年度 (実績)	13年度 (実績)	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (見込)	17年度 (目標・計画)	18年度 (目標・計画)
投入量	事業費							
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	15,169	18,299	20,490	10,210	12,852	13,430	
	事業費計 (A)	15,169	18,299	20,490	10,210	12,852	13,430	0
人件費	正規職員				365	348	348	
	正規職員以外							
	人件費計 (B)	0	0	0	365	348	348	0
	トータルコスト(A)+(B)	15,169	18,299	20,490	10,575	13,200	13,778	0
活動指標		35 新設分	39 新設分	62 新設分	50 新設分	52 新設分		
対象指標								
成果指標	事故件数	447	432	500	428			
	死亡者数	15	8	6	8			
上位成果指標								

③	事務事業の環境変化・市民意見等	
①	この事務事業を開始したきっかけは何か？	交通事故を防ぐために、交通安全施設等の整備をはじめ
②	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか？	交通量の増加により危険箇所が増加している。  区画整理や道路の新設等により、以前と比べて通行形態が変化している。
③	この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？	地域や学校からの整備についての要望が多い

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく ⇒【理由】⇒	意図することが上位施策に結びついていますか？ 交通事故の減少は、安全安心の街づくりに不可欠のものであり市の政策体系と結びつく
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 手が引ける ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない ⇒【理由】⇒	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的ですか？ 市民の交通安全の確保は市の責務であり、施設整備による交通安全の確保は必要なことである
	③ 対象・意図の拡大又は縮小余地	<input type="checkbox"/> 余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒	事業の対象・意図は適切か？拡大・縮小の余地はあるか？ 対象は市内全域、全市民であり適切である、
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある ⇒【原因】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 余地がない ⇒【理由】⇒	成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒ 【問題解決策】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策 現在の交通安全設備の維持をどうするか 新たな必要箇所への設置方法
	⑥ 類似事業との統廃合余地	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【具体的な影響】⇒ 【問題解決策】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ	成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策 道路工事時に、予測される危険箇所へ安全施設等を事前に整備することにより、その後の施設整備を減らすことができる⇒道路設計部門との調整が必要
	⑧ 人件費の削減余地	<input type="checkbox"/> 可能 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 ⇒【理由】⇒	成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど) 工事発注の事務のみであり人件費等の削減の余地はない
公平性 評価	⑨ 受益者負担の適正余地	<input type="checkbox"/> 公平・公正な負担率ではない。⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)へ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正な負担率である。⇒【理由】⇒	受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？ 区長町会長会議で周知設置要望を受け設置している 個人負担はない

3 改革・改善方向の部

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止 見直し(目的妥当性 効率性 有効性 公平性) 統合 継続  
 道路状況の変化により、廃止、移設など標識の有効性を見直すことで成果の向上を図る  
 今後必要な整備箇所を把握し設置効果等を考慮するなどして、計画的な整備、維持管理が必要である

交通安全対策特別交付金＝交通反則金を財源とし交通事故、違反の発生数に応じて交付される  
 道路安全施設等の整備管理費用に充てることとされている  
 14年度交付額 7,820千円 (総務課コミュニティゾーン形成事業、  
 建設課 道路区画線、ガードレール対象)

(3)改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			×
	低下		×	×

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?

4 事務事業の2次評価結果

(1)1次評価結果の客観性と出来具合

記述説明不足(説明責任不十分) 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

(2)2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 適切 見直し余地あり
- ② 有効性 適切 見直し余地あり
- ③ 効率性 適切 見直し余地あり
- ④ 公平性 適切 見直し余地あり

(3)評価結果に至る経緯や申し送り事項



(4)2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充 事業統廃合 事業のやり方改善  
予算削減 予算増大 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5)その他2次評価会議で指摘された事項

2次評価→人件費が少なすぎるのでは。  
 14年度はモデル事業を実施したため金額が多い。  
 交通事故が多いのは運転者や通行者の交通モラルの問題がある。原因から対処していくべきでは。  
 設計、施行は建設課にお願いしてやってもらっている。組織検討委員会で検討する。

(6)改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

5 最終意思決定結果

(1)改革の方向性(改革案・実行計画)

廃止 休止 目的絞込み 目的拡充 事業統廃合 事業のやり方改善  
予算削減 予算増大 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2)改革, 改善を実現する上で克服すべき課題は何ですか?それをどう克服していきますか?